

人吉市 町内会調査 調査結果報告書

令和5年

人吉市

目 次

第 1 章 調査概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査対象者	1
3. 調査結果閲覧上の留意点	1
第 2 章 調査結果	2

第 1 章 調査概要

1. 調査の目的

地域の高齢者の状況や課題等を把握し、地域共生社会の実現に向けた地域包括ケアシステムの深化・推進と「第 9 期人吉市介護保険事業計画・高齢者福祉計画」を作成する際の基礎資料とすることを目的として実施しました。

2. 調査対象者

調査期間	令和 5 年 7 月～令和 5 年 8 月
調査対象者及び	人吉市の各町内会の会長
調査方法	直接配付及び郵送による回収

3. 調査結果閲覧上の留意点

- ・回答率は百分比の小数点第 2 位を四捨五入しているため、合計が 100%にならない場合があります。
- ・2 つ以上の回答を要する（複数回答）質問の場合、割合の合計が 100%を超える場合があります。
- ・数表及び図表は、スペースの都合上、文言等を省略している場合があります。
- ・集計表においては、該当区分の数値が全体値と比較して 10 ポイント以上高い場合を赤、低い場合を青の色塗りで示しています。（無回答を除く）

第2章 調査結果

問1 回答町内会

以下の72町内会から回答をいただきました。

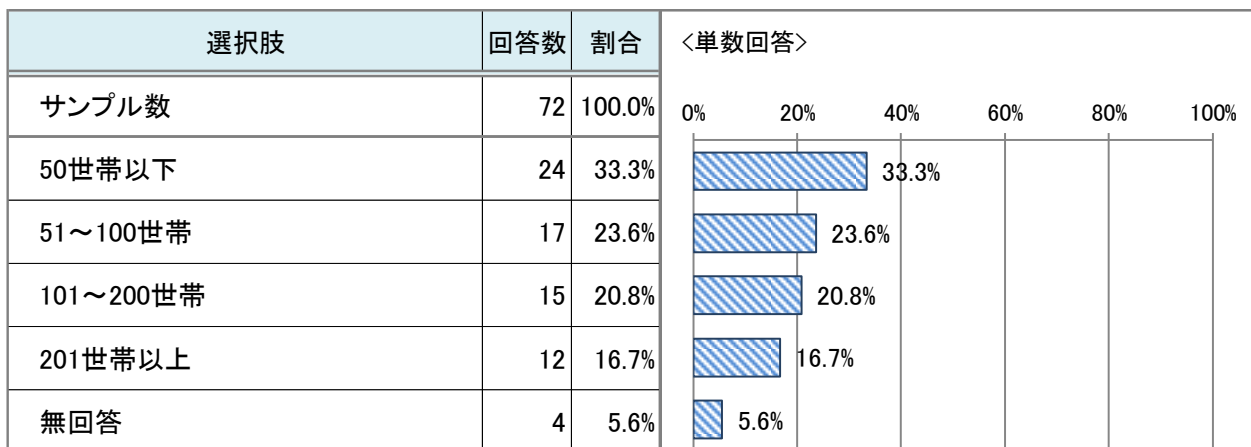
また、一部の町内会からは、町内会の区域で活動する民生委員等からのご意見もお寄せいただきました。

上原田町尾曲	大畑町	城本
荒毛	下原田堀町内	九日町
上原	東漆田町	矢岳町
上原田尾崎町内	人吉市瓦屋	合ノ原町
下林町前村	下漆田	中青井町
中神町馬場	上戸越町	西門
下原田町瓜生田	下戸越町	鹿目
小柿	下新町	大工町
中神町城本	永野町	上林町二区
温泉町	大塚	大畑麓小川内
馬草野	鶴田町	下青井
大柿	上新町	中林
下原田町羽田	鬼木町	古仏頂町
五日町	北泉田町	矢黒町
上原田菖蒲町内	南願成寺町	東間上町
南寺町	赤池水無町	相良町
蟹作	井ノ口町	北願成寺
上林町一区	鍛冶屋町	七地町
田野町内	新町	七日
蓑野町内	中神町段山	大野
下城本町	浪床	下薩摩瀬
中島町段	赤池水無外園町	上田代
南泉田町	下林町二区	赤池原
木地屋		

問 1 -加入世帯数

町内会の加入世帯数は、「50 世帯以下」が 33.3%、「51～100 世帯」が 23.6%、「101～200 世帯」が 20.8%、「201 世帯以上」が 16.7%となっています。

回答世帯数を平均すると 142.9 世帯となっています。



	単純集計	加入世帯数別				加入率別			高齢者の地域活動別		
	全体	50世帯以下	51～100世帯	101～200世帯	201世帯以上	ほぼ全世帯	8割以上	8割未満	活発	普通	低調
サンプル数	72	24	17	15	12	35	28	6	27	19	23
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
50世帯以下	24	24	0	0	0	18	5	1	8	6	10
	33.3%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	51.4%	17.9%	16.7%	29.6%	31.6%	43.5%
51～100世帯	17	0	17	0	0	7	7	2	4	4	8
	23.6%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	20.0%	25.0%	33.3%	14.8%	21.1%	34.8%
101～200世帯	15	0	0	15	0	5	9	1	8	4	2
	20.8%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	14.3%	32.1%	16.7%	29.6%	21.1%	8.7%
201世帯以上	12	0	0	0	12	3	7	2	5	3	3
	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	8.6%	25.0%	33.3%	18.5%	15.8%	13.0%
無回答	4	0	0	0	0	2	0	0	2	2	0
	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.7%	0.0%	0.0%	7.4%	10.5%	0.0%

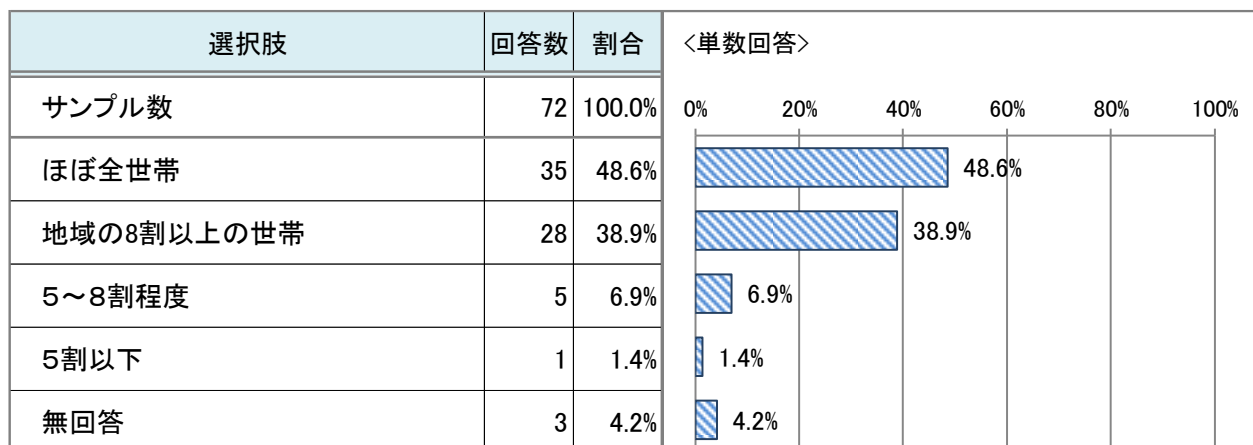
※町内会の加入世帯数（問 1-加入世帯数）、町内会の加入率（問 1-加入率）、地域での高齢者の地域活動等の状況（問 10）を基にクロス集計を行った（以下同）。

問1-加入率

「ほぼ全世帯」が48.6%、「地域の8割以上の世帯」が38.9%、「5～8割程度」が6.9%、「5割以下」が1.4%となっています。

「ほぼ全世帯」と「地域の8割以上の世帯」の合計は87.5%と、多くの町内会で世帯の8割以上が加入しています。

加入世帯数別でみると、『50世帯以下』の町内会で「ほぼ全世帯」が75.0%と、51世帯以上の層と比較して全世帯加入している割合が高くなっています。



	単純集計	加入世帯数別				加入率別			高齢者の地域活動別		
	全体	50世帯以下	51～100世帯	101～200世帯	201世帯以上	ほぼ全世帯	8割以上	8割未満	活発	普通	低調
サンプル数	72	24	17	15	12	35	28	6	27	19	23
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
ほぼ全世帯	35	18	7	5	3	35	0	0	16	7	12
	48.6%	75.0%	41.2%	33.3%	25.0%	100.0%	0.0%	0.0%	59.3%	36.8%	52.2%
地域の8割以上の世帯	28	5	7	9	7	0	28	0	8	8	9
	38.9%	20.8%	41.2%	60.0%	58.3%	0.0%	100.0%	0.0%	29.6%	42.1%	39.1%
5～8割程度	5	0	2	1	2	0	0	5	2	2	1
	6.9%	0.0%	11.8%	6.7%	16.7%	0.0%	0.0%	83.3%	7.4%	10.5%	4.3%
5割以下	1	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0
	1.4%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	3.7%	0.0%	0.0%
無回答	3	0	1	0	0	0	0	0	0	2	1
	4.2%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.5%	4.3%

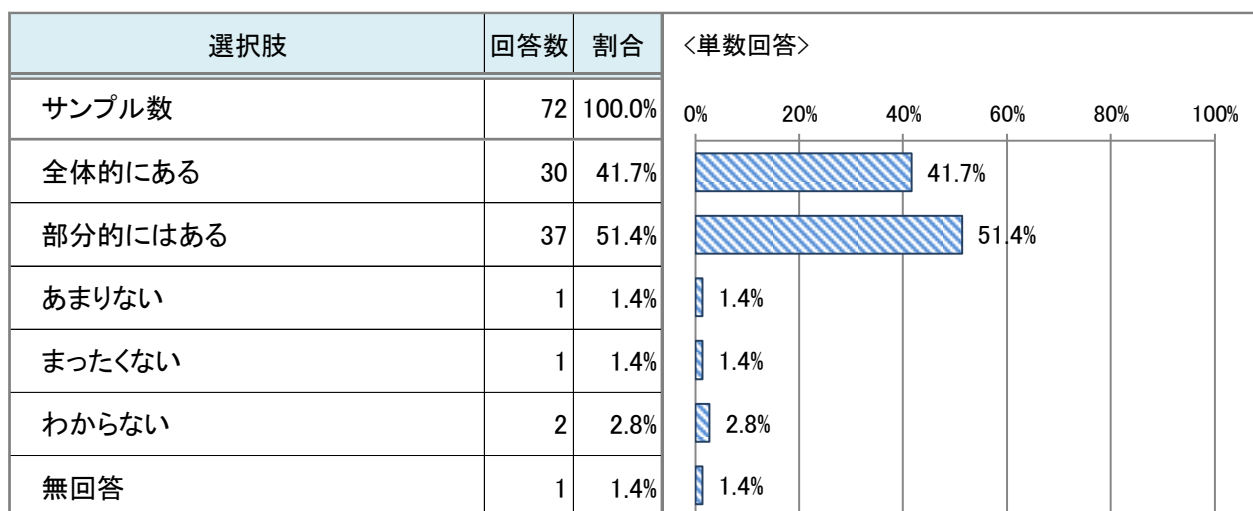
問2 地域では、だれかが困っている場合に助け合う気風がありますか。(〇は1つ)

「部分的にはある」が 51.4%と最も高く、次いで「全体的にある」が 41.7%、「わからない」が 2.8%となっています。

加入世帯別でみると、『50世帯以下』の町内会で「全体的にある」が 58.3%と 51世帯以上の層と比較して高くなっています。

加入率別でみると『ほぼ全世帯』の町内会で「全体的にある」が 57.1%と他の層と比較して高くなっています。

高齢者の地域活動別でみると、地域活動が活発な町内会ほど助け合う気風があるとする割合が高くなっています。



	単純集計	加入世帯数別				加入率別			高齢者の地域活動別		
	全体	50世帯以下	51～100世帯	101～200世帯	201世帯以上	ほぼ全世帯	8割以上	8割未満	活発	普通	低調
サンプル数	72	24	17	15	12	35	28	6	27	19	23
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
全体的にある	30	14	5	5	3	20	7	2	14	7	9
	41.7%	58.3%	29.4%	33.3%	25.0%	57.1%	25.0%	33.3%	51.9%	36.8%	39.1%
部分的にはある	37	9	10	9	8	12	19	4	11	12	12
	51.4%	37.5%	58.8%	60.0%	66.7%	34.3%	67.9%	66.7%	40.7%	63.2%	52.2%
あまりない	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	1.4%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.3%
まったくない	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1
	1.4%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.3%
わからない	2	0	0	1	1	0	2	0	1	0	0
	2.8%	0.0%	0.0%	6.7%	8.3%	0.0%	7.1%	0.0%	3.7%	0.0%	0.0%
無回答	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0
	1.4%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%	3.7%	0.0%	0.0%

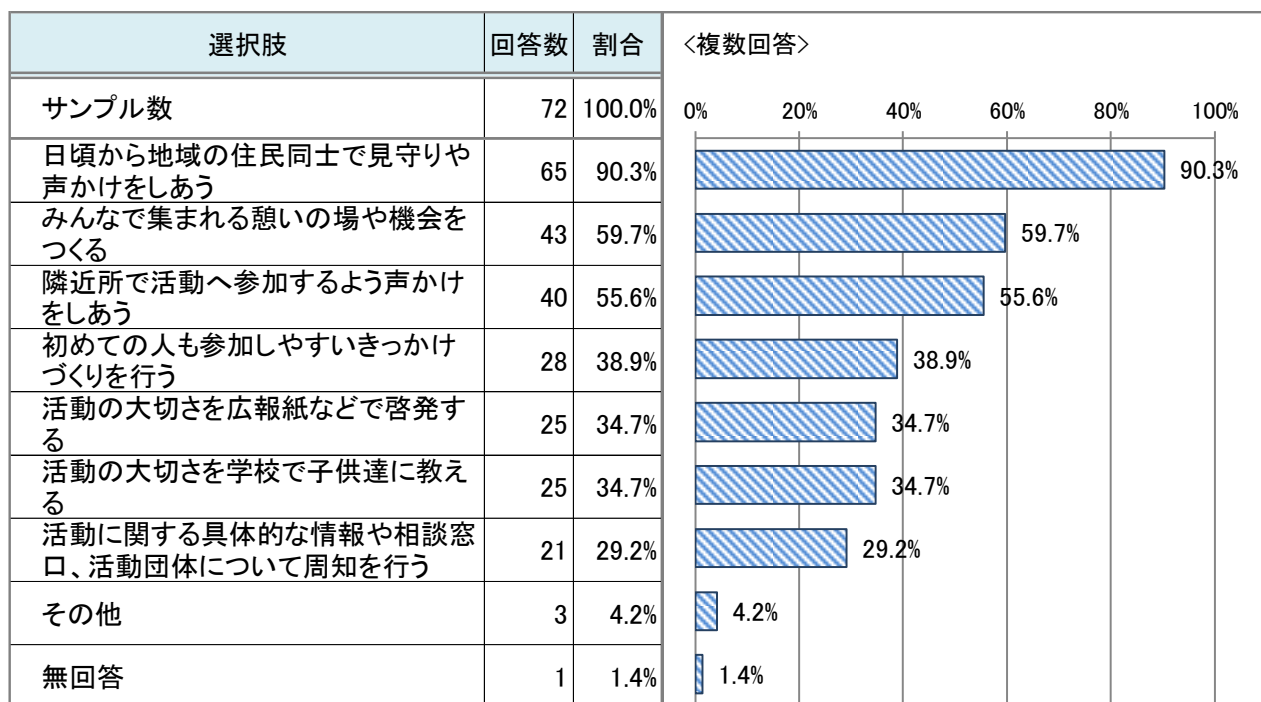
問3 少子高齢化が進む中で、地域の助け合いを活発にするためにどのようなことが重要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

「日頃から地域の住民同士で見守りや声かけをしあう」が 90.3%と最も高く、次いで「初めての人も参加しやすいきっかけづくりを行う」が 59.7%、「隣近所で活動へ参加するよう声かけをしあう」が 55.6%となっています。

加入世帯別でみると、『101～200 世帯』の町内会で、多くの項目が求められています。

加入率別でみると、『ほぼ全世帯』の町内会で「みんなで集まれる憩いの場や機会をつくる」が 73.7%と他の層と比較して高くなっています。

高齢者の地域活動別でみると、『低調』の町内会で「隣近所で活動へ参加するよう声かけをしあう」と「活動の大切さを学校で子供たちに教える」が 7～8 割台と他の層と比較して高く、「初めての人も参加しやすいきっかけづくりを行う」が低くなっています。



	単純集計	加入世帯数別				加入率別			高齢者の地域活動別		
		全体	50世帯以下	51～100世帯	101～200世帯	201世帯以上	ほぼ全世帯	8割以上	8割未満	活発	普通
サンプル数	72	35	28	6	27	19	23	24	17	15	12
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
初めての人も参加しやすいきっかけづくりを行う	28	10	12	4	13	7	6	4	9	8	4
	38.9%	28.6%	42.9%	66.7%	48.1%	36.8%	26.1%	16.7%	52.9%	53.3%	33.3%
日頃から地域の住民同士で見守りや声かけをしあう	65	30	26	6	23	18	21	20	16	14	11
	90.3%	85.7%	92.9%	100.0%	85.2%	94.7%	91.3%	83.3%	94.1%	93.3%	91.7%
活動に関する具体的な情報や相談窓口、活動団体について周知を行う	21	11	8	2	6	7	8	7	5	4	3
	29.2%	31.4%	28.6%	33.3%	22.2%	36.8%	34.8%	29.2%	29.4%	26.7%	25.0%
活動の大切さを広報紙などで啓発する	25	11	11	3	13	3	8	6	6	6	6
	34.7%	31.4%	39.3%	50.0%	48.1%	15.8%	34.8%	25.0%	35.3%	40.0%	50.0%
隣近所で活動へ参加するよう声かけをしあう	40	19	14	4	18	9	10	10	9	9	10
	55.6%	54.3%	50.0%	66.7%	66.7%	47.4%	43.5%	41.7%	52.9%	60.0%	83.3%
活動の大切さを学校で子供達に教える	25	7	14	3	10	5	8	6	4	8	4
	34.7%	20.0%	50.0%	50.0%	37.0%	26.3%	34.8%	25.0%	23.5%	53.3%	33.3%
みんなで集まれる憩いの場や機会をつくる	43	18	18	5	15	14	12	9	10	13	9
	59.7%	51.4%	64.3%	83.3%	55.6%	73.7%	52.2%	37.5%	58.8%	86.7%	75.0%
その他	3	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1
	4.2%	2.9%	3.6%	16.7%	3.7%	5.3%	4.3%	4.2%	5.9%	0.0%	8.3%
無回答	1	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0
	1.4%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	0.0%

【「その他」の内容】

- 町内に空家、空地がある。市が介入していただき整地、借用出来ないものか、希望する。
理由・・・町内にいこいの広場がない。高齢者の１人暮らし、昼間１人暮らしの家庭が多くなり、引きこもり状態が多くなっているのを憂慮する。グランドゴルフの練習したり見学したりで歩いて集まれる場所が欲しい。行ってみれば誰かが居る場所が必要と思われる。
- 年末に餅つき大会を行い、全家庭に餅を配布している。
- 子ども会活動への応援

問 4 地域の高齢者で、特に気になる人や見守りが必要な人がいますか。
(あてはまるものすべてに○)

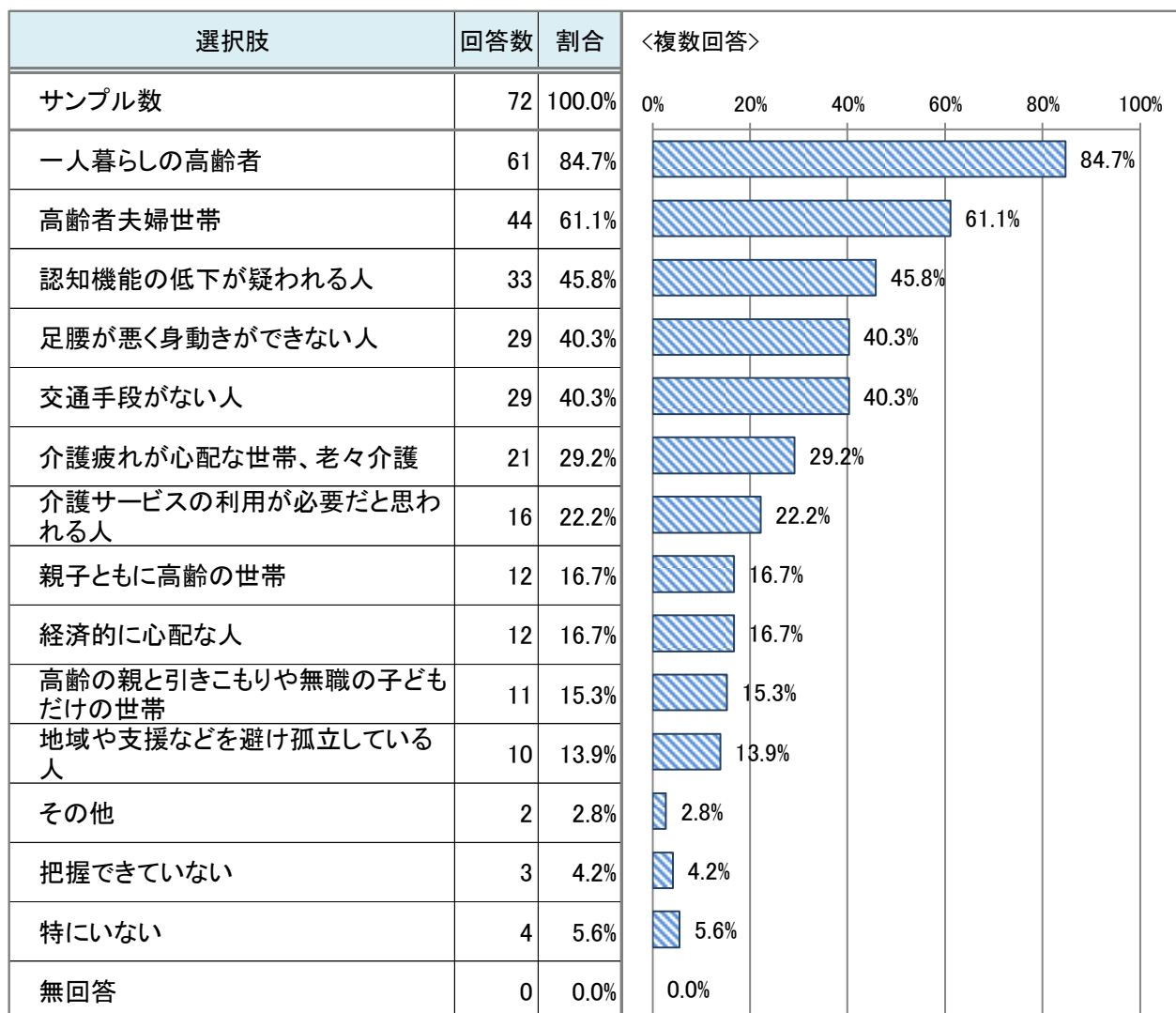
「一人暮らしの高齢者」が 84.7%と最も高く、次いで「高齢者夫婦世帯」が 61.1%、「認知機能の低下が疑われる人」が 45.8%となっています。

「把握できていない」が 4.2%と、ほとんどの町内会では見守りが必要な人を把握できていると考えています。

加入世帯別でみると、世帯数が多い町内会ほど多数の選択肢で割合が高くなっていますが、これは世帯数が多い分、見守りが必要な世帯も多くなるためと考えられます。

加入率別でみると、『8割未満』の町内会で他の層と比較して多数の選択肢で割合が高くなっています。

高齢者の地域活動別でみると、『低調』で「交通手段がない人」が 60.9%と、他の層と比較して高くなっています。



	単純集計	加入世帯数別				加入率別			高齢者の地域活動別		
	全体	50世帯以下	51～100世帯	101～200世帯	201世帯以上	ほぼ全世帯	8割以上	8割未満	活発	普通	低調
サンプル数	72 100.0%	24 100.0%	17 100.0%	15 100.0%	12 100.0%	35 100.0%	28 100.0%	6 100.0%	27 100.0%	19 100.0%	23 100.0%
一人暮らしの高齢者	61 84.7%	15 62.5%	15 88.2%	15 100.0%	12 100.0%	27 77.1%	25 89.3%	6 100.0%	22 81.5%	16 84.2%	20 87.0%
高齢者夫婦世帯	44 61.1%	8 33.3%	9 52.9%	13 86.7%	11 91.7%	17 48.6%	19 67.9%	6 100.0%	20 74.1%	10 52.6%	12 52.2%
親子ともに高齢の世帯	12 16.7%	0 0.0%	2 11.8%	3 20.0%	7 58.3%	4 11.4%	5 17.9%	3 50.0%	6 22.2%	4 21.1%	1 4.3%
介護疲れが心配な世帯、老々介護	21 29.2%	2 8.3%	4 23.5%	8 53.3%	6 50.0%	9 25.7%	9 32.1%	2 33.3%	10 37.0%	6 31.6%	3 13.0%
経済的に心配な人	12 16.7%	3 12.5%	2 11.8%	3 20.0%	3 25.0%	4 11.4%	6 21.4%	2 33.3%	5 18.5%	1 5.3%	4 17.4%
認知機能の低下が疑われる人	33 45.8%	4 16.7%	6 35.3%	8 53.3%	12 100.0%	13 37.1%	15 53.6%	4 66.7%	15 55.6%	10 52.6%	6 26.1%
足腰が悪く身動きができない人	29 40.3%	5 20.8%	5 29.4%	8 53.3%	8 66.7%	13 37.1%	12 42.9%	3 50.0%	13 48.1%	5 26.3%	10 43.5%
交通手段がない人	29 40.3%	10 41.7%	6 35.3%	7 46.7%	5 41.7%	16 45.7%	12 42.9%	1 16.7%	9 33.3%	5 26.3%	14 60.9%
介護サービスの利用が必要だと思う人	16 22.2%	2 8.3%	3 17.6%	5 33.3%	4 33.3%	7 20.0%	6 21.4%	2 33.3%	8 29.6%	3 15.8%	5 21.7%
高齢の親と引きこもりや無職の子どもだけの世帯	11 15.3%	2 8.3%	2 11.8%	3 20.0%	4 33.3%	3 8.6%	6 21.4%	2 33.3%	6 22.2%	3 15.8%	2 8.7%
地域や支援などを避け孤立している人	10 13.9%	2 8.3%	5 29.4%	1 6.7%	2 16.7%	4 11.4%	6 21.4%	0 0.0%	3 11.1%	1 5.3%	4 17.4%
その他	2 2.8%	1 4.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 8.3%	2 5.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.7%	0 0.0%	1 4.3%
把握できていない	3 4.2%	0 0.0%	0 0.0%	3 20.0%	0 0.0%	1 2.9%	1 3.6%	1 16.7%	2 7.4%	1 5.3%	0 0.0%
特にいない	4 5.6%	4 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 11.4%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.7%	2 10.5%	1 4.3%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

【「その他」の内容】

- 現在の状況では把握できていると思う。
- 住民票異動せず子供と暮らす高齢者がおられその情報把握が難しい

問5 地域の高齢者から、生活や公的な支援制度に関する相談を受けたことがありますか。
「1. ある」と回答した方は具体的な内容もご回答ください。(○は1つ)

「ある」が31.9%、「ない」が65.3%となっています。

選択肢	回答数	割合	＜単数回答＞
サンプル数	72	100.0%	0% 20% 40% 60% 80% 100%
ある	23	31.9%	31.9%
ない	47	65.3%	65.3%
無回答	2	2.8%	2.8%

	単純集計	加入世帯数別				加入率別			高齢者の地域活動別		
	全体	50世帯以下	51～100世帯	101～200世帯	201世帯以上	ほぼ全世帯	8割以上	8割未満	活発	普通	低調
サンプル数	72 100.0%	24 100.0%	17 100.0%	15 100.0%	12 100.0%	35 100.0%	28 100.0%	6 100.0%	27 100.0%	19 100.0%	23 100.0%
ある	23 31.9%	5 20.8%	3 17.6%	7 46.7%	7 58.3%	11 31.4%	8 28.6%	3 50.0%	8 29.6%	6 31.6%	8 34.8%
ない	47 65.3%	19 79.2%	13 76.5%	7 46.7%	5 41.7%	23 65.7%	19 67.9%	3 50.0%	17 63.0%	13 68.4%	15 65.2%
無回答	2 2.8%	0 0.0%	1 5.9%	1 6.7%	0 0.0%	1 2.9%	1 3.6%	0 0.0%	2 7.4%	0 0.0%	0 0.0%

【具体的な相談内容】

- ①母（77才）息子（55才）の二世帯、息子の体調不良で休職中。家計は年金のみで医療費、家賃支払いも困難であり、精神的にも不安な状態→ひとよし生活困りごと支援センター地域包括支援センターへ継いだ
- ②夫（87才）妻（79才）孫（女、22才）の三人家族。孫が6月に職場で倒れ緊急搬送。精神の病気があり現在休職中。家計は年金のみだが家賃、夫のデイ通所支払等不安な要素は大きい。→ひとよし生活困りごと支援センター紹介
- 『運転免許を返納したが外出時の交通手段が難しい。毎回タクシーでは生活できない。公共の交通機関を整備してもらいたい。』など。また「回覧板が回ってこない。無視されているのではないかと相談があり、調べたが回覧板はきちんと届いていて次の方に回されていた。
- 一人暮らしの高齢者の方から、「友達からデイサービスへの参加を勧められた。一人暮らしの高齢者の方が亡くなり話し相手がいない。」等を尋ねられわかる範囲で話をした。現在、友達が行っているデイサービスへ週一回行っておられる。
- ・認知機能低下で包括センターに依頼したことがある。（民生委員）
・独居で自立生活が不安になり娘さんと同居したので公的サービスを受ける事が不可能（民生委員）
- 精神障がいがある方は、地元、民生員に話すのが辛いということで、地区外の方が相談に来られた。深刻な問題有（民生委員）
- 1.生活支援金助成の願い。
2. デイケア、ショートステイのサービス利用について（要介護認定の調査の促しをした。）
- 生活面における小さな手伝い用件との話を受けてゴミ出しや庭木の管理（枝の剪定など）の手伝いを役員で行なう。
- 家の周りの草払い。ベッドから落ち動けず SOS（入院させる）。屋根のトイに溜まったゴミ拾い
- 交通事故後遺症によるとみられる、認知機能の低下、包括支援センターに相談し対応してもらった。
- 車がなく、高齢で運転しなくなって、買い物や通院が大変。タクシーを頼むにもお金がかかり大変。
- 川の側に家があり、水位が高い時家が浸水するのではないかと相談され、市役所に相談した。
- 隣の空き家から張り出した木の枝の伐採を依頼・行政への提出物の記入方法の相談
- 高齢者となり、班長としての役割が出来ないので変わってくれる人の相談があった。
- 買い物支援。役所提出書類の作成。掃除に来てくれる人を探して欲しい。
- 一人暮らしの防犯面、金銭の管理。買い物時の交通手段
- 午前中に行きたいけど、午後しか空きがない。（民生委員）
- 高齢者の買物支援について、生活保護の申請について
- 生金への不安、子どもの仕事（無職）、就職、疾病不安
- デイサービスについて
- 介護サービス利用
- 介護サービス
- 交通手段がない
- 昔はあったけど、今はない
- 以前はあったが、現在はなし。

町内会の会員などから、地域の高齢者に関する相談を受けたことがありますか。

問6 「1. ある」と回答した方は具体的な内容やその時の対応もご回答ください。
(○は1つ)

「ある」が36.1%、「ない」が58.3%となっています。

具体的な内容については、一人暮らしや夫婦といった高齢者のみの世帯、認知症に関する事項が多く挙げられています。

選択肢	回答数	割合	＜単数回答＞
サンプル数	72	100.0%	0% 20% 40% 60% 80% 100%
ある	26	36.1%	36.1%
ない	42	58.3%	58.3%
無回答	4	5.6%	5.6%

	単純集計	加入世帯数別				加入率別			高齢者の地域活動別		
	全体	50世帯以下	51～100世帯	101～200世帯	201世帯以上	ほぼ全世帯	8割以上	8割未満	活発	普通	低調
サンプル数	72	24	17	15	12	35	28	6	27	19	23
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
ある	26	7	7	6	4	13	9	2	9	7	8
	36.1%	29.2%	41.2%	40.0%	33.3%	37.1%	32.1%	33.3%	33.3%	36.8%	34.8%
ない	42	17	8	8	8	19	18	4	15	11	15
	58.3%	70.8%	47.1%	53.3%	66.7%	54.3%	64.3%	66.7%	55.6%	57.9%	65.2%
無回答	4	0	2	1	0	3	1	0	3	1	0
	5.6%	0.0%	11.8%	6.7%	0.0%	8.6%	3.6%	0.0%	11.1%	5.3%	0.0%

【具体的な内容やその時の対応】

- 高齢者のみの世帯等、若い人が少ないので、みんなを守るのは負担がかかりすぎる。町内の草払い等も2～3人でかなりの範囲をしなくてはならない。声をかけても、家庭内の事を知られたくない人がおり、関わりが難しい、高齢者のみの世帯がある。
- 常に多様な相談有。家事紛争、視力低下のため行政保護のお願い、水道漏水、クーラー不調、孤独死寸前の高齢者の対応、豪雨災害後電話不通料金不当請求、ATMの引出の事等、賃貸借契約の確認等、関係行政機関に連絡対応した。(民生委員)
- 小地域ネットワークの議題で3件があがった。軽微な1件を除き、市、社協のスタッフが対応してくれた。ただし詳しい経過は不明。その後どこまで踏み込んでよいかも不明。着地点がよくわからない。
- 夫婦とも75歳以上。両方とも身体が弱っていて特に女性の方は寝たきり。夫が面倒みているものの、本人も身体が弱くなっている。見守りの方から相談あり。現在、妻は施設へ。生活はそれなりに落ち着く。
- ①1年交替の隣保班長役を免除して欲しい：対応 希望通り次年度の人に。
②町内行事の一斉清掃出動を免除して欲しい：対応希望通り免除した。
- ・団地内(上、下階)でのゴミの投げ捨て、郵便ポストへの不法投入、個人間のトラブル
・個人宅への干渉、無断立ち入り、悪口(中傷)、空き家対策(樟土木の繁茂)
- 脳梗塞とうの後遺症が出た場合、リハビリやデイサービスを受ける時の手続き、方法。その時包括支援センターに相談して決めてもらう。

- 1人暮らし又は認知症があり徘徊している方。民生委員、くらし見守り相談員・キーパーソン等と相談しながら対応している。
- 溝の清掃や庭の草刈りの要望があり、町内一斉清掃時や庭の草刈りは「支え合いセンター中原」などを紹介し対応した。
- 少し離れた所から、チョイチョイ遊びに来られて、暑い中でもあるし、車の事も心配で気になって仕方ない。(民生委員)
- 隣接の会員から一人暮らしの高齢者の体調が思わしくないようだと話を受けて、見守り訪問の強化を図る。
- 町内会総会に認知症のある人の家族が来て協力を依頼されたため、その人の行動を町内の皆さんに告知して協力をあおぐことになった。
- ほとんど毎日来て、同じ事の繰り返し、対応につかれる。市に相談するが今のところあまり方法がない。
- 2人暮らしで60代、70代2人とも入院、我が家の建物、いぬ、ねこの管理、近くに身寄りがない！
- 80才老夫婦の1人が施設に入り、一人で買物に歩いて夕方から出かける様子を見ると心配である。
- 認知症がひどくゴミ出しの仕方が分からない方が居るが、具体的な対応に苦慮している
- 一人暮らしの高齢男性の洗濯や食事の世話について（状況を把握して個別に話をした）
- 1. 高齢ドライバーが危ない。どうしたら良いか。
2. ゴミ出し、買い物
- 地域とのかかわりのない人の調査をいかに把握するか。
- 認知機能低下により徘徊している人がいる
- 金銭の借用依頼や認知症進行による被害妄想。
- 民生委員に直接相談されたのでは…
- 認知機能の低下が疑われる人
- 多々あるのでさまざま。
- もっと安い方がいい。

地域に気になる高齢者や支援が必要と思われる高齢者がいた場合の相談・連絡先を知っていますか。「1. 知っていて相談したことがある」と回答した方は具体的な相談先もご回答ください。(〇は1つ)

「知っていて相談したことがある」が 38.9%、「知っているが相談したことはない」が 48.6%、「知らない」が 11.1%となっています。

具体的な相談先としては、地域包括支援センター、人吉市社会福祉協議会、人吉市高齢者支援課が多く挙げられた他、民生委員、親族といった回答も得られました。

選択肢	回答数	割合	<単数回答>									
サンプル数	72	100.0%	0% 20% 40% 60% 80% 100%									
知っていて相談したことがある	28	38.9%	38.9%									
知っているが相談したことはない	35	48.6%	48.6%									
知らない	8	11.1%	11.1%									
無回答	1	1.4%	1.4%									

	単純集計	加入世帯数別				加入率別			高齢者の地域活動別		
	全体	50世帯以下	51～100世帯	101～200世帯	201世帯以上	ほぼ全世帯	8割以上	8割未満	活発	普通	低調
サンプル数	72	24	17	15	12	35	28	6	27	19	23
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
知っていて相談したことがある	28	5	3	9	7	14	9	2	11	9	7
	38.9%	20.8%	17.6%	60.0%	58.3%	40.0%	32.1%	33.3%	40.7%	47.4%	30.4%
知っているが相談したことはない	35	16	10	5	4	16	16	3	14	9	12
	48.6%	66.7%	58.8%	33.3%	33.3%	45.7%	57.1%	50.0%	51.9%	47.4%	52.2%
知らない	8	3	3	1	1	5	2	1	2	1	4
	11.1%	12.5%	17.6%	6.7%	8.3%	14.3%	7.1%	16.7%	7.4%	5.3%	17.4%
無回答	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0
	1.4%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

【多かった相談先】

- ◆人吉市社会福祉協議会
- ◆人吉市高齢者支援課
- ◆人吉市地域包括支援センター

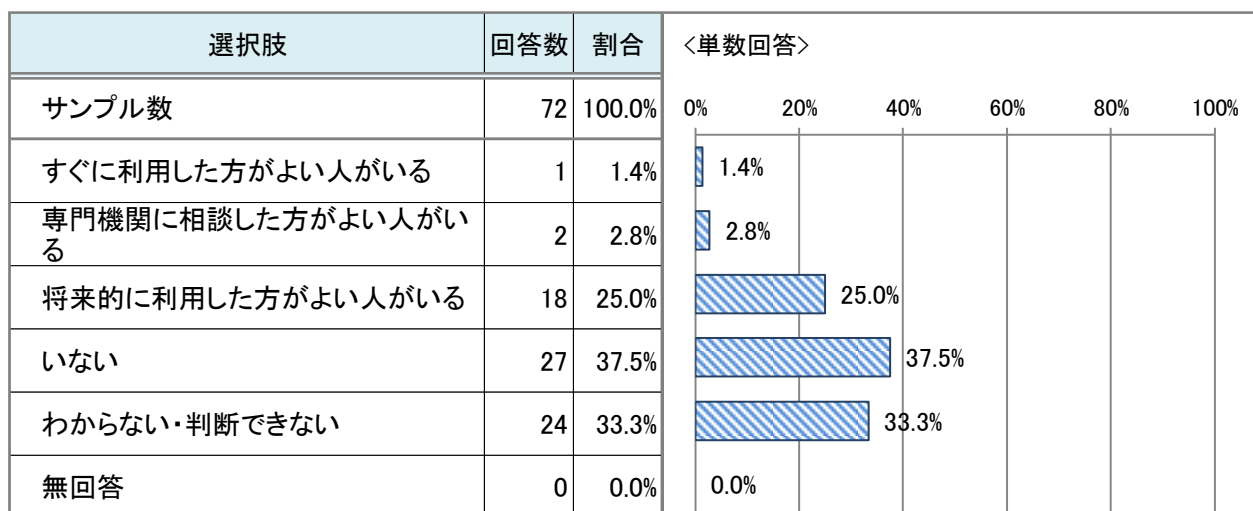
【具体的な相談先】

- ひとよし生活困りごと支援センター、地域包括支援センター、町内ネットワーク対象者については親族等を把握しており年1回見直しをしている（TEL、名前）
- 市、社協、包括支援センター、市高齢者支援課
- 民生委員、暮らし見守り相談員、社協
- 町内会長、民生委員、暮らし見守り相談員
- 包括支援センター、市役所市民課
- 民生委員、包括支援センター
- 包括支援センター、社会福祉事務所
- 市(高齢者支援課他市社協)
- 近くに住む親族（子ども）
- 民生委員
- 親族

問8 地域に、「成年後見制度」を利用した方がよいと思われる人がいますか。(〇は1つ)

「いない」が37.5%と最も高く、次いで「わからない・判断できない」が33.3%、「将来的に利用した方がよい人がある」が25.0%となっています。

「わからない・判断できない」が33.3%となっていることから、町内会長など地域の中心となる人へ向けた成年後見制度に関する一層の周知が重要となります。

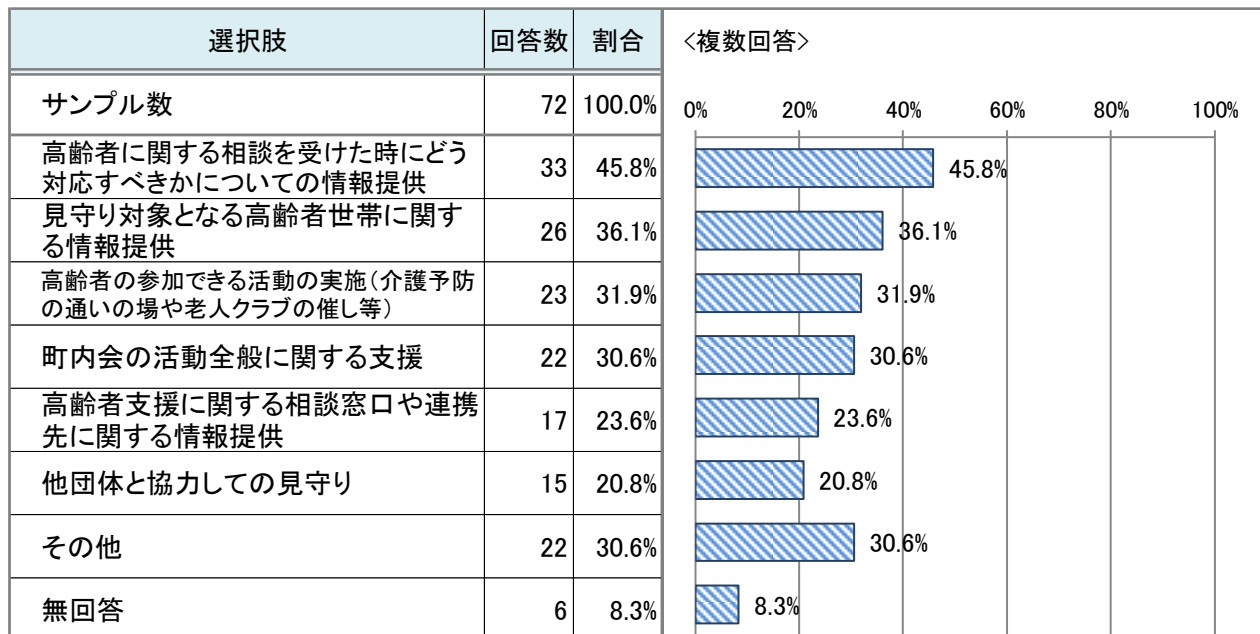


	単純集計	加入世帯数別				加入率別			高齢者の地域活動別		
	全体	50世帯以下	51～100世帯	101～200世帯	201世帯以上	ほぼ全世帯	8割以上	8割未満	活発	普通	低調
サンプル数	72	24	17	15	12	35	28	6	27	19	23
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
すぐに利用した方がよい人がある	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0
	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%	3.7%	0.0%	0.0%
専門機関に相談した方がよい人がある	2	1	0	1	0	1	1	0	0	0	1
	2.8%	4.2%	0.0%	6.7%	0.0%	2.9%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	4.3%
将来的に利用した方がよい人がある	18	5	3	4	6	9	6	3	9	4	5
	25.0%	20.8%	17.6%	26.7%	50.0%	25.7%	21.4%	50.0%	33.3%	21.1%	21.7%
いない	27	11	6	6	1	16	7	1	9	9	9
	37.5%	45.8%	35.3%	40.0%	8.3%	45.7%	25.0%	16.7%	33.3%	47.4%	39.1%
わからない・判断できない	24	7	8	4	5	8	14	2	8	6	8
	33.3%	29.2%	47.1%	26.7%	41.7%	22.9%	50.0%	33.3%	29.6%	31.6%	34.8%
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問9 地域の高齢者を支えるために関係団体などに支援してほしいことはありますか。
(〇はいくつでも)

「高齢者に関する相談を受けた時にどう対応すべきかについての情報提供」が 45.8%と最も高く、次いで「見守り対象となる高齢者世帯に関する情報提供」が 36.1%、「高齢者の参加できる活動の実施（介護予防の通いの場や老人クラブの催し等）」が 31.9%となっています。

加入率別でみると、『8割未満』の町内会で多数の選択肢で他の層と比較して割合が高くなっています。



	単純集計 全体	加入世帯数別				加入率別			高齢者の地域活動別		
		50世帯以下	51～100世帯	101～200世帯	201世帯以上	ほぼ全世帯	8割以上	8割未満	活発	普通	低調
サンプル数	72 100.0%	24 100.0%	17 100.0%	15 100.0%	12 100.0%	35 100.0%	28 100.0%	6 100.0%	27 100.0%	19 100.0%	23 100.0%
町内会の活動全般に関する支援	22 30.6%	8 33.3%	6 35.3%	5 33.3%	2 16.7%	11 31.4%	7 25.0%	4 66.7%	8 29.6%	6 31.6%	7 30.4%
他団体と協力しての見守り	15 20.8%	3 12.5%	3 17.6%	4 26.7%	5 41.7%	8 22.9%	5 17.9%	2 33.3%	8 29.6%	3 15.8%	3 13.0%
高齢者の参加できる活動の実施(介護予 防の通いの場や老人クラブの催し等)	23 31.9%	5 20.8%	6 35.3%	6 40.0%	5 41.7%	6 17.1%	11 39.3%	5 83.3%	8 29.6%	5 26.3%	8 34.8%
高齢者支援に関する相談窓口や連携先 に関する情報提供	17 23.6%	1 4.2%	5 29.4%	5 33.3%	5 41.7%	5 14.3%	7 25.0%	5 83.3%	8 29.6%	5 26.3%	4 17.4%
見守り対象となる高齢者世帯に関する情 報提供	26 36.1%	4 16.7%	6 35.3%	6 40.0%	8 66.7%	11 31.4%	12 42.9%	3 50.0%	14 51.9%	5 26.3%	5 21.7%
高齢者に関する相談を受けた時にどう対 応すべきかについての情報提供	33 45.8%	6 25.0%	9 52.9%	8 53.3%	8 66.7%	14 40.0%	14 50.0%	5 83.3%	13 48.1%	9 47.4%	8 34.8%
その他	22 30.6%	3 12.5%	8 47.1%	5 33.3%	6 50.0%	6 17.1%	11 39.3%	4 66.7%	11 40.7%	4 21.1%	5 21.7%
無回答	6 8.3%	3 12.5%	1 5.9%	1 6.7%	1 8.3%	2 5.7%	4 14.3%	0 0.0%	1 3.7%	3 15.8%	2 8.7%

【「その他」の内容】

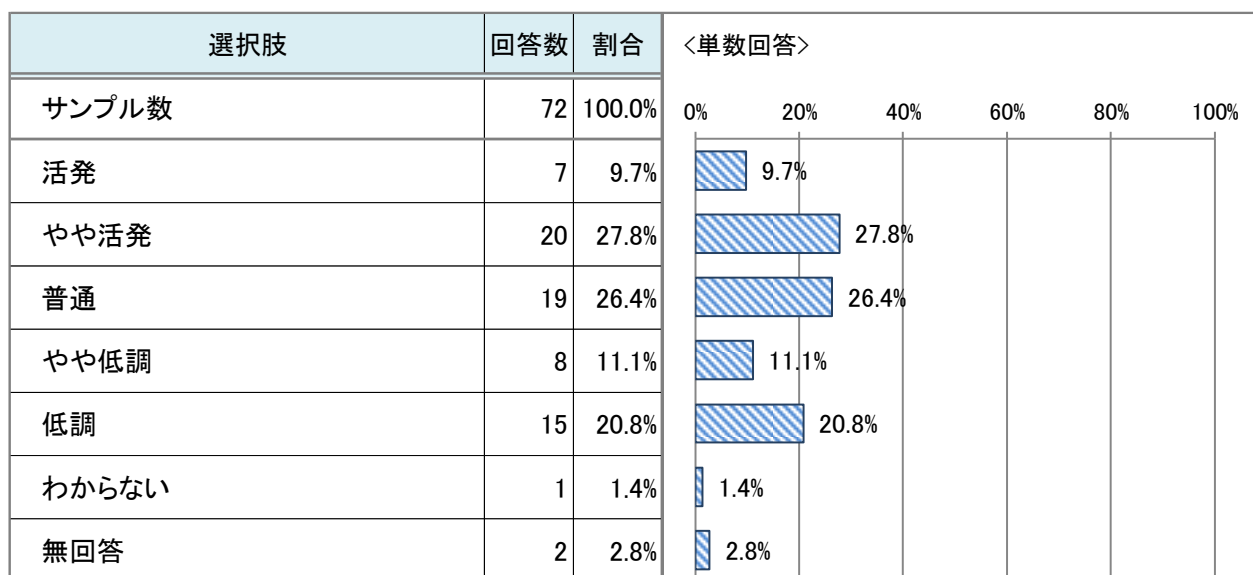
- 認知機能など日常生活に変化が生じた時の為あるいは急病発作が生じたりした時の為事前に近親者の連絡先の情報を町内会長、高齢者相談支援員までは把握させていただきたい。老人会で月例会を実施している。出席者も 20 名位。内容がマンネリ化をしないように工夫しているが、最近の話題など講師の手配をお願いしたい。
- 高齢者はなにをどうすればいいか次の段階へ進めないで支援をもっと身近に理解できるよう福祉を充実させてほしい。（地域に寄り添ってほしい）（健康推進委員さんの意見）

- 既存の各組織の支援内容を知って活用する。
- 免許証返納による買物支援、市内への諸用事の送迎
- 車による定期的買物支援、ドアからドアへ
- 趣味の活動支援

問 1 0 地域では高齢者の地域活動や社会参加は活発だと思いますか。(〇は1つ)

「やや活発」が 27.8%と最も高く、次いで「普通」が 26.4%、「低調」が 20.8%となっています。

加入世帯別でみると、『50 世帯以下』の町内会で「低調」が 33.3%、『51～100 世帯』で 35.3%と、101 世帯以上の層と比較して高くなっています。

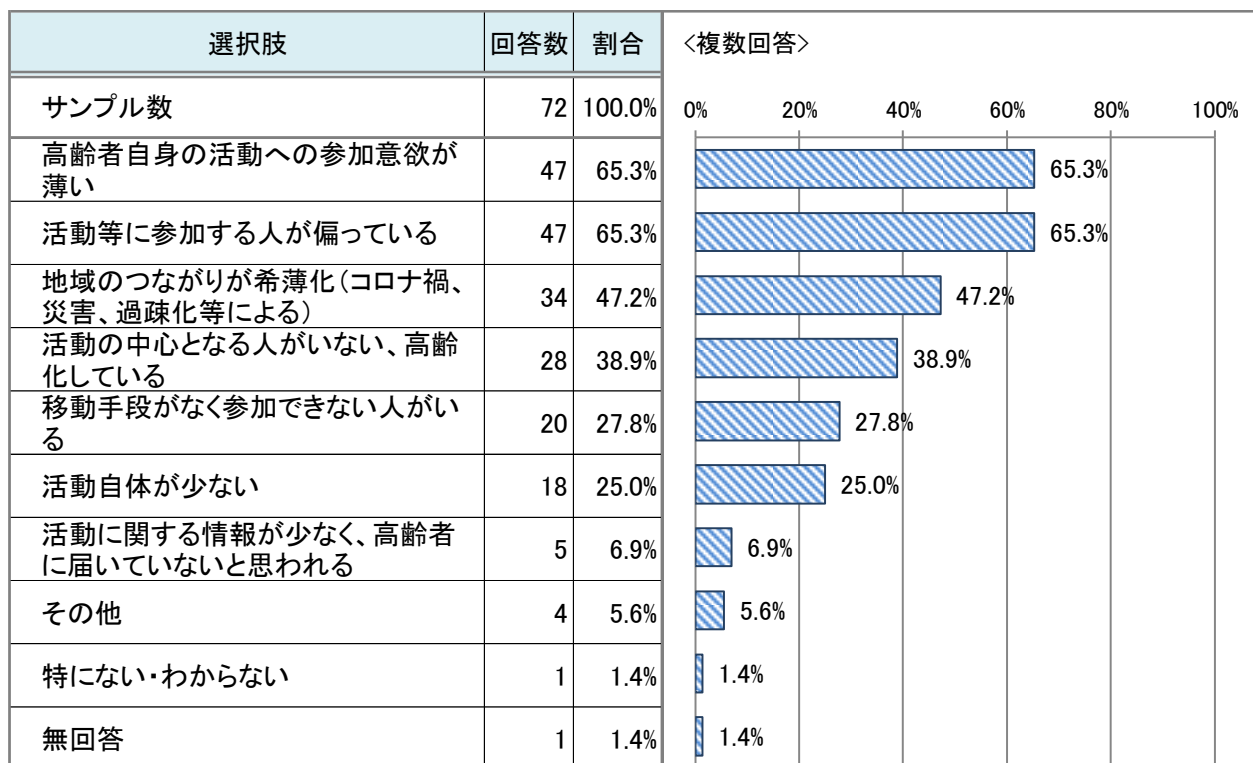


	単純集計	加入世帯数別				加入率別			高齢者の地域活動別		
	全体	50世帯以下	51～100世帯	101～200世帯	201世帯以上	ほぼ全世帯	8割以上	8割未満	活発	普通	低調
サンプル数	72	24	17	15	12	35	28	6	27	19	23
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
活発	7	1	2	3	1	4	2	1	7	0	0
	9.7%	4.2%	11.8%	20.0%	8.3%	11.4%	7.1%	16.7%	25.9%	0.0%	0.0%
やや活発	20	7	2	5	4	12	6	2	20	0	0
	27.8%	29.2%	11.8%	33.3%	33.3%	34.3%	21.4%	33.3%	74.1%	0.0%	0.0%
普通	19	6	4	4	3	7	8	2	0	19	0
	26.4%	25.0%	23.5%	26.7%	25.0%	20.0%	28.6%	33.3%	0.0%	100.0%	0.0%
やや低調	8	2	2	1	3	4	3	1	0	0	8
	11.1%	8.3%	11.8%	6.7%	25.0%	11.4%	10.7%	16.7%	0.0%	0.0%	34.8%
低調	15	8	6	1	0	8	6	0	0	0	15
	20.8%	33.3%	35.3%	6.7%	0.0%	22.9%	21.4%	0.0%	0.0%	0.0%	65.2%
わからない	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0
	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	2	0	1	1	0	0	2	0	0	0	0
	2.8%	0.0%	5.9%	6.7%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問 1 1 高齢者が地域で様々な活動をするにあたり、課題はありますか。(〇はいくつでも)

「高齢者自身の活動への参加意欲が薄い」と「活動等に参加する人が偏っている」が 65.3%と最も高く、次いで「地域のつながりが希薄化(コロナ禍、災害、過疎化等による)」が 47.2%、「活動の中心となる人がいない、高齢化している」が 38.9%となっています。

高齢者の地域活動別でみると、『低調』な町内会で「高齢者自身の活動への参加意欲が薄い」が 82.6%と最も高く、次いで「活動の中心となる人がいない、高齢化している」が 65.2%、「地域のつながりが希薄化(コロナ禍、災害、過疎化等による)」と「活動に参加する人が偏っている」が 52.2%となっています。



	単純集計					加入世帯数別			加入率別			高齢者の地域活動別		
	全体	50世帯以下	51～100世帯	101～200世帯	201世帯以上	ほぼ全世帯	8割以上	8割未満	活発	普通	低調	活発	普通	低調
サンプル数	72	24	17	15	12	35	28	6	27	19	23	100.0%	100.0%	100.0%
地域のつながりが希薄化(コロナ禍、災害、過疎化等による)	34	11	9	8	5	15	15	3	13	8	12	47.2%	45.8%	52.9%
活動自体が少ない	18	6	5	4	3	7	8	2	5	1	11	25.0%	25.0%	26.7%
高齢者自身の活動への参加意欲が薄い	47	10	14	9	10	22	18	4	13	13	19	65.3%	41.7%	82.4%
活動等に参加する人が偏っている	47	9	11	11	12	20	19	5	19	15	12	65.3%	37.5%	73.3%
移動手段がなく参加できない人がいる	20	8	3	3	5	9	10	0	7	3	8	27.8%	33.3%	20.0%
活動の中心となる人がいない、高齢化している	28	10	7	4	6	15	10	3	6	6	15	38.9%	41.7%	26.7%
活動に関する情報が少なく、高齢者に届いていないと思われる	5	1	2	1	1	3	2	0	3	0	1	6.9%	4.2%	6.7%
その他	4	1	0	1	1	2	1	0	2	2	0	5.6%	4.2%	6.7%
特にない・わからない	1	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	1.4%	0.0%	0.0%
無回答	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1.4%	0.0%	0.0%

【「その他」の内容】

- 60 才以後も仕事を続ける人が多くなり、活動する際の世話役（人）が高齢化しており課題となっている。
- マンション・アパート等の人の情報がなく広報は見えておられるだろうが参加がない。
- 毎月町内回覧により縁がわ、誕生会、日程を連絡する。
- 農業地域の為、仕事に一生懸命である。

問 1 2 （ 1 ） 町内会による活動 地域に、高齢者が参加できる町内会活動はありますか。

- 老人会活動がなくなっている。町内全体で行う清掃作業、校区体育等。敬老会などには参加できる人は参加しているが、年々減少の傾向。かつ、人口減（死亡・転出など）による参加者減っている。
- 高齢者の見守り、登下校の見守り、ごみ出し支援、共同清掃、草刈り、ミニサロン事業、グランドゴルフ等スポーツ、ミニサロン(健康推進委員さんの意見)
- 高齢者の見守り、ミニサロン、グランドゴルフ等スポーツ、コミセン講座、デイサロン、ころばん体操、10 月頃から健康サロンを行う予定。
- 高齢者の見守り、登下校の見守り、一斉清掃(草刈り他)、朝デイミニサロン、デイサロン、ふれあいグランドゴルフ大会、敬老会、夏祭り
- 社協による朝デイ(月一回)、グランドゴルフ、老人会(月一回)…町内会館周りの草刈り、登下校の見守り各自に任せてある。
- 登下校の見守り、高齢者の見守り、共同清掃、草刈り、ミニサロン事業、グランドゴルフ、ころばん体操(下薩にここミニサロン)
- 高令者の見守り、登下校の見守り、共同清掃、草刈り、伐採、ミニサロン事業、敬老祝賀会、グランドゴルフ（町内班対抗）
- 高齢者の見守り、登下校の見守り、共同清掃、草刈り、ミニサロン、デイサロン、神社やお堂の旗づくり(鐘の麻会)
- 高齢者の見守り、登下校の見守り、共同清掃、ミニサロン事業、グランドゴルフ等スポーツ、デイサロン
- 高齢者の見守り、ごみ出し支援、共同清掃、草刈り伐採、ミニサロン事業、グランドゴルフ等、デイサロン。
- 共同清掃、高齢者の見守り、ごみ出し支援、ミニサロン事業、デイサロン、町内球技大会、河川溝清掃
- 毎月の清掃及び草払い作業、高齢者の見守り、ミニサロン、不動尊夏祭り、敬老会、お伊勢講
- 高齢者の見守り、登下校の見守り、ごみ出し支援、ミニサロン、グランドゴルフ、デイサロン
- 高齢者の見守り、登下校の見守り、共同清掃、ミニサロン事業、グランドゴルフ、デイサロン
- 高齢者の見守り、グランドゴルフ、介護予防の通いの場(デイサロン、ころばん体操)
- 高齢者の見守り、登下校の見守り、ごみ出し支援、よけまん会(地域サロン)
- 高齢者の見守り、登下校の見守り、ごみ出し支援、共同清掃、草刈り、グランドゴルフ
- 共同清掃、ミニサロン事業、グランドゴルフ等スポーツ、デイサロン、茶話会
- 老人クラブ活動(見守り、清掃、ミニサロン、カラオ、ケグランドゴルフ)
- 高齢者の見守り、登下校の見守り、ミニサロン事業、グランドゴルフ等のスポーツ

- 登下校の見守り、ミニサロン、グランドゴルフ、防犯パトロール、敬老会
- （老人会）登下校の見守り共同清掃、老人会月例会・・・茶話会
- 高齢者の見守り、老人クラブによるグランドゴルフ、ころばん体操
- 高齢者の見守り、ミニサロン(年3回)グランドゴルフころばん体操
- ごみ出し清掃草刈りミニサलगランドゴルフコミセン茶話会
- 高齢者の見守り、登下校の見守り、共同清掃、草刈り、グランドゴルフ
- 共同草払い、テニスコートの所にあるトイレ清掃（町内でまわし）
- 年2回の町内清掃年2回の集会場の清掃（活性化センター）
- 高齢者の見守り、ミニサロン事業、いきいき百才体操
- 町内一斉清掃、ミニサロン、毎月のデイサロン、敬老会
- 高齢者の見守り、登下校の見守り、草刈り、ミニサロン
- ミニサロン、高齢者の見守り、夏祭り、共同作業
- 高齢者の見守り、グランドゴルフ等スポーツ
- 高齢者の見守り、登下校の見守り、ミニサロン事業
- ミニサロン、草刈り、共同清掃、高齢者の見守り
- 草刈り、グランドゴルフ、ころばん体操、茶話会
- 高齢者の見守り、ミニサロン、デイサロン茶会
- ころばん体操を月2回程度実施
- ミニサロン事業、ころばん体操、縁がわ
- 毎月、デイサロンを公民館で社協の協力で開催
- 七日町いきいきサロン(ころばん体操と脳トレ)
- 高齢者の見守り、ミニサロン、デイサロン
- 現在は「敬老を祝う会」だけとなっている
- 高齢者の見守りパトロール、共同清掃
- ミニサロン、老人カラオケクラブ
- デイサロン、神社、公民館等共同清掃
- グランドゴルフ、草刈り
- ゴミ出し、高齢者の見守り
- 高齢者の見守り
- 清掃草刈り等
- デイサロン、共同清掃
- 高齢者の見守り、ミニサロン
- 共同清掃・ミニサロン
- 定期的な訪問
- ミニサロン
- ミニサロン
- 共同清掃、草刈り
- ミニサロン事業
- 共同清掃、草刈り

- グランドゴルフ
- 高齢者の見守り
- 高齢者の見守り
- 共同清掃
- 高齢者の見守り
- デイサロン
- 草刈り

問 1 2 (2)

地域に、高齢者が参加できる町内会以外の団体による活動はあ町内会以外の団体による活動 りますか。

- 縁がわサロン、ころば人体操、コミセン講座、草刈り、茶話会、太極拳、パソコン、スマホ、絵手紙
- 高齢者の見守り、登下校の見守り、共同清掃、グランドゴルフ、趣味グループ、デイサロン
- 愛好会によるグランドゴルフ、新浪会の親睦会、子ども保安官、シルバーヘルパー活動
- 老人会→シルバーヘルパー活動(例会で歌やゲームなど)、友愛訪問、ころばん体操
- 老人会のレクリエーション(脳トレや輪なげ等)の話があがった。
- 清掃作業(あみだ堂)グランドゴルフ、交通安全教室、法講話(寺社)慰安旅行
- デイサロン・ごみ出し支援・グラウンドゴルフ・コミセン講座・茶話会
- ミニサロン事業、デイサロン、朝デイ、支え合い部会による、茶話会
- コミセン講座、趣味、学習のグループ(健康推進委員さんの意見)
- 60代、70代が5、6名で80代、90代の動ける人がいない
- グランドゴルフ、登下校の見守り、共同清掃(八幡宮など)
- 老人会により定期的に行われている誕生日会などの活動
- デイサロン、登下校の見守り、ごみ出し支援
- 介護予防の場、高齢者の見守り、情報交換。
- 老人クラブがなくなって、特に活動はなし
- グランドゴルフ、コミセン講座、デイサロン
- ミニサロン事業・シニアグランドゴルフ等
- グランドゴルフ、茶話会、コミセン講座
- デイサロン、老人会例会(月1回)
- コミセン講座、朝デイサロン
- 登下校の見守り、グランドゴルフ等
- ミニサロン、グランドゴルフ
- ミニサロンデイサロン
- グランドゴルフ、コミセン講座
- デイサロン、朝デイ
- グランドゴルフのグループ
- グランドゴルフ等スポーツ
- ミニサロン、デイサロン

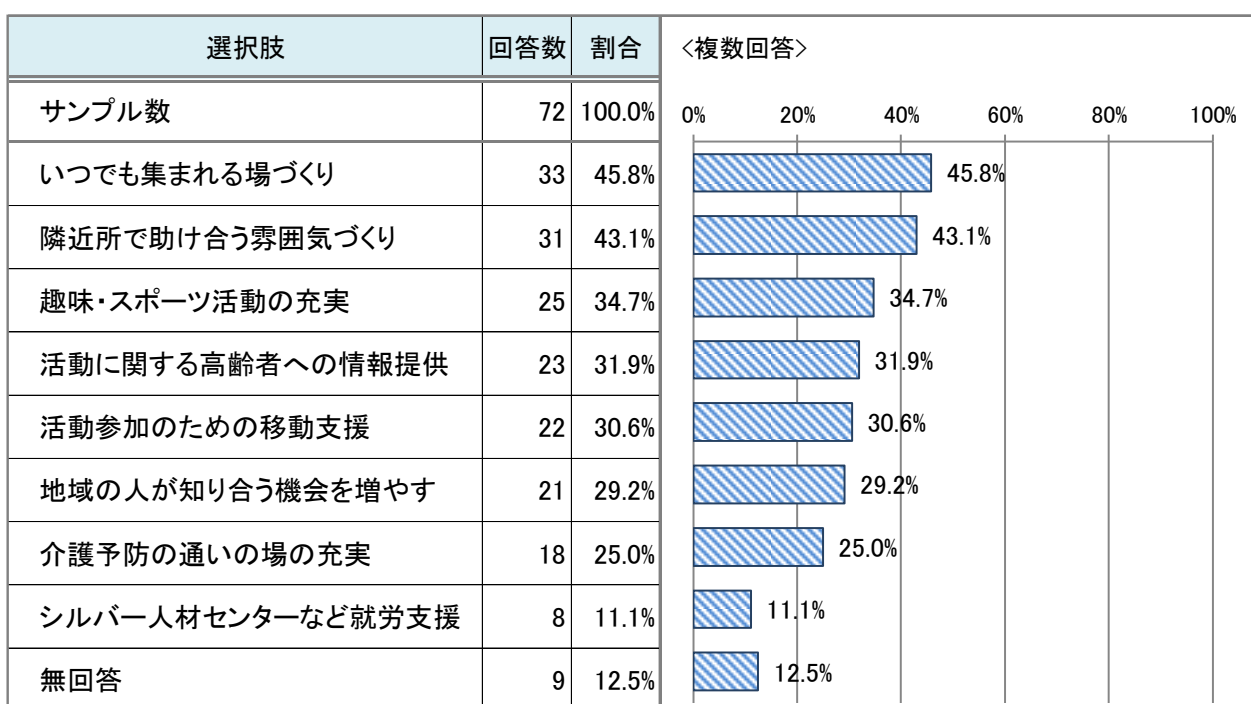
- デイサロン、ミニサロン
- デイサロン
- デイサロン社協
- あさデイデイサロン
- デイサロン、朝デイ
- ころばん体操
- グランドゴルフ
- デイサロン
- グランドゴルフ
- グランドゴルフ
- 市社協デイサロン
- グランドゴルフ
- デイサロン
- デイサロン

高齢者が、地域で健康に生活し地域活動や社会に積極的に参加してもらうためのアイ
問 1 3 デアはありますか。選択肢を選ぶか具体的な内容をご回答ください。
(○はいくつでも)

「いつでも集まれる場づくり」が 45.8%と最も高く、次いで「隣近所で助け合う雰囲気づくり」が 43.1%、「趣味・スポーツ活動の充実」が 34.7%となっています。

高齢者の地域活動別でみると、『低調』な町内会で「隣近所で助け合う雰囲気づくり」が 43.5%と最も高く、次いで「活動参加のための移動支援」が 39.1%の順となっています。また、他の層では高い「趣味・スポーツ活動の充実」と「いつでも集まれる場づくり」が低くなっています。

「その他」の具体的な内容としては、地域住民の集まる場や活動する場（活動機会）が多く挙げられており、実際に町内会で集まる場や機会を作っているという回答も得られました。



	単純集計	加入世帯数別				加入率別			高齢者の地域活動別		
	全体	50世帯以下	51～100世帯	101～200世帯	201世帯以上	ほぼ全世帯	8割以上	8割未満	活発	普通	低調
サンプル数	72	24	17	15	12	35	28	6	27	19	23
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
活動に関する高齢者への情報提供	23	4	5	9	4	8	11	4	11	4	6
	31.9%	16.7%	29.4%	60.0%	33.3%	22.9%	39.3%	66.7%	40.7%	21.1%	26.1%
シルバー人材センターなど就労支援	8	0	3	3	2	2	4	2	4	3	1
	11.1%	0.0%	17.6%	20.0%	16.7%	5.7%	14.3%	33.3%	14.8%	15.8%	4.3%
趣味・スポーツ活動の充実	25	3	9	7	3	10	8	5	11	10	4
	34.7%	12.5%	52.9%	46.7%	25.0%	28.6%	28.6%	83.3%	40.7%	52.6%	17.4%
介護予防の通いの場の充実	18	4	3	5	6	7	8	3	7	4	6
	25.0%	16.7%	17.6%	33.3%	50.0%	20.0%	28.6%	50.0%	25.9%	21.1%	26.1%
いつでも集まれる場づくり	33	4	10	8	8	15	13	4	15	11	6
	45.8%	16.7%	58.8%	53.3%	66.7%	42.9%	46.4%	66.7%	55.6%	57.9%	26.1%
活動参加のための移動支援	22	9	4	2	6	10	9	1	6	5	9
	30.6%	37.5%	23.5%	13.3%	50.0%	28.6%	32.1%	16.7%	22.2%	26.3%	39.1%
隣近所で助け合う雰囲気づくり	31	9	6	8	7	15	12	3	11	8	10
	43.1%	37.5%	35.3%	53.3%	58.3%	42.9%	42.9%	50.0%	40.7%	42.1%	43.5%
地域の人を知り合う機会を増やす	21	2	7	7	5	9	9	3	11	4	5
	29.2%	8.3%	41.2%	46.7%	41.7%	25.7%	32.1%	50.0%	40.7%	21.1%	21.7%
無回答	9	7	1	0	1	5	4	0	2	2	5
	12.5%	29.2%	5.9%	0.0%	8.3%	14.3%	14.3%	0.0%	7.4%	10.5%	21.7%

【「その他」の内容】

- 何らかの居場所が確保できればいいと思う。ただし運営・維持していく人材も資源ありません。老若男女が楽しめるイベントも中々ないし趣味やスポーツの発表の機会をつくってサポートしていただければどうかとおもいます。
- 豪雨被災、高齢化などに伴う人口減などで町内自体が活力エネルギー低下。現在は町内全体での行事など呼びかけはしているが、町内会そのものの活力が将来（近い）危ぶまれ高齢者への支援がますます難しくなっていく。
- 少子化もあってか、高齢者と子供たちとふれ合う場がない。コロナ禍でもあると思うのですが子どもたちとふれ合う場があれば、高齢者も元気が出るのではないかと思います。
- 町内では「餅つき大会」を行い、年寄りが得意な「餅まるめ」なども担当してもらい、子供達にも指導してもらっています。
- 核になる人材育成。情報提供は電話や訪問が効果がある。健康推進員の人と老人会などを緊密に結びつける。
- 玄関まで送迎して集会場で各自の趣味を楽しむ。町内に集会場を作る(憩い、みんなの広場、避難所などの集会場)
- (希望として)現在会館が2階建てのため昇り降りが出来ないので、まずは平屋の会館が出来ることから。
- 地域の伝統(歴史)や高齢者の体験談を発表する世代間の交流小中生との交流を活発にしたい。
- 各地域のシニアクラブへの積極的な勧誘を行い、会員を増やすことにより活動の幅を広げる。
- 公民館の隣接地に広場、休憩所を設置し、いつでも自由に集える場所を設置する計画。
- 世代間交流町では子どもと大人のグランドゴルフ大会をしている。充実して行きたい。
- 特にアイデアはないが、先々こんな場が作れたらいいなと思っている。
- 町内清掃後のバーベキュー集会場（活性化センター）。清掃後の忘年会
- デイサロン、ころばん体操、茶話会など町内会にて実施する。
- 町内の約 60%の人が人吉市主催のペタンク大会等に参加している
- 認知症予防のため、外に出ることに、心がける。(民生委員)
- 行事の集合にジャンボタクシーの利用
- コロナ禍で集まりにくい。
- カラオケクラブ

問 1 4 最後に、人吉市の高齢者施策や地域の高齢者の課題についてご意見・ご要望等ありましたらご自由にお書きください。

- 関係法規遵守は大変重要な事と理解しますが、適切な情報開示をお願いしたい。全てにおいてレッド・テプでは解決は程遠いと理解します。高齢化社会で、任意後見人の存在が重要と考えます。西瀬・中原校区でも正式に任意後見人(受任者)を選任した人がおられます。それは高齢者に安心を与え大変良いことと思いますが、家裁は多くは専門職を推薦し、親族後見人等は厳しい状況があります。任意後見は、財産管理と身上監護(保護)を任務としますが、専門職だから万能とは言えません。お一人で 10 人以上の高齢者(被後見人)を受け持つことは、物理的に困難と言われています。人吉球磨では、専門職の方で驚く人数を受けている方がおられます。家裁が認めているから仕方ありませんが。昨年の平田弁護士事件を思い出します。この事件の被害者の中には人吉球磨の方もおられます。専門職の人も含めすべての方の人権人格を尊重し、慎重に高齢者の皆さんにご助言お願いしたく考えます。(民生委員)
- <アンケートについて> 1. 町内会にこのようなことを聞かれるのは、よいこと<町内会としての意識向上>、しかし、より具体的なことは、民生委員、児童委員がよく知っておられる。他に暮らし見守り、健康推進員 etc…いろんな方に聞かれての課題把握をされたら。
2. アンケートをまずは市職員がまとめるべき、それからコンサルさんに分析してもらったら。※町内で孤独死がありました。死後 2 週間だったようです。町内でも要支援者にもチェックしていない人でした。70 歳以上で 1 人暮らしの人が鬼木で 100 名超えておられる。体が不自由で高齢な方の支援も大切だが 1 人暮らしの高齢者のチェックを感じている。
- 人吉市は「日常生活見守り支援事業」を各校区社協に割り当て、各校区バラバラでほとんど前進していないのが現状であると思います。これまで人吉市は「国の支援事業」として相当な無駄金を使っただけではではないでしょうか、この事業は、これからの超高齢化社会を乗り切るためには大変重要な施策と思います。人吉市も先進地(合志市等)などを見習って低価格(ただより高いものはない)で市社教に統一して行えば安く出来るのではないのでしょうか。シルバーセンターの事業もあるわけですから、案件もそんなに多くはないと思われます。
- 大畑校区では交通手段の充実について数年前から要望しているが返答がない。現在の乗り合いタクシーでは乗場までの移動や病院等に行く場合終わる時間が事前に解らない為、予約ができない。(現在イオンのバス停で降り歩いて帰って来る高齢者がいる)
・高齢者への補助金の充実を希望する。(敬老会の助成金 380 円/1 人は他町村より極端に少ないので弁当も買えない!!)・草むしり・伐採や買物等の軽作業を受託する組織が町内にあれば良いが具体的(料金や規約等)な方法があれば教えてほしい(税金等の問題も)
- 豪雨災害後、人口流失に伴い高齢化に拍車がかかっており、数々の地域活動が中止等を余儀なくされている。近所医に若年層(児童・生徒含む)が住んでいることにより地域活動を含め、町内に活気が出てくる。災害からの復旧も大切だが、若年層引き留めのため、観光業の再建とその他の雇用の場の確保に努めていただきたい。そのことにより今後、課題となっている介護人材の確保にも寄与できるのではないだろうか。

- ①人吉市の高齢者施策が市民に周知されていないのではないか？
- ②免許証返納の際の特典は有るのか教えて欲しい
- ③移動（通院・買い物等）手段に困っている高齢者に対しての困り事に行政はどう対処されているのか？
- ④高齢者に交通手段の補助として、利用券（乗り物）の配布をして欲しい。（年に10枚程度）
- ⑤利便性の良い交通網を構築する為に、市内に於ける高齢者向けの交通網の案内表を知らせて欲しい
- 直近にミニサロンとして大学生たちによる「足湯」を行いました。2回目ですが若い人との交流が一番よいと感じました。地域の子ども会もなくなり、「モグラうち」や「十五夜のすもう」だとかの若い世代との交流もなくなりました。活やくの場もせまくなりました。コロナも豪雨災害も痛手でした。この間まで元気だった人の変化が信じられないくらいひどいです。
- 高齢化によって支援する人材がいない。
 - ①市の目指す町づくりは、高齢者が「終のすみか」として全国から人吉に転居したがるほどのインフラを含めて、整備することで変わる。
 - ②高齢者が全国から人吉を目指せば、介護を含めた新規事業が生まれる。
 - ③高齢者を支える若者が必要となり、そのための教育施設が必要となり海外からの学生、人材が人吉集まり、新たな人吉が再生できると思う。
- 地域の福祉(高齢者)対策には、共(協)助、自助を基根として、地域施策されているが、これらを地域(町内)で実施するには、町内会役員、民生、児童委員等支える人員が必要である。だが、現状は、各部会とも成り手がなく(地域の高齢化が急速したこともあいまっている)また、手当等の保障も安定していない。全ての地縁活動も行政指導が必要と思える。
- 市の施策はよくやってもらっていると思うが、住民が充分周知していないので活用されなくもったいないと思う。ものすごい高齢率で病気介護等の財政面が恐ろしい状況になる事を住民が承知して健康維持、向上に努力すべきである。寿命100歳時代に突入している事を自覚して明るく楽しく、元気に暮らせるように各自が努力すること。
- コロナ感染症や豪雨災害発生以来あらゆる行事、イベント等の中止・休止などにより高齢者のみならずあらゆる年齢層でもコミュニケーションをとれる機会が減少したことにより、地域の中での連帯感や協調性が希薄になったのではと思われるは自分だけでしょうか？ハード、ソフト両面での1日も早い復興を！
- スポーツ、ミニサロン、敬老会等を開催しても参加される方はいつも同じ方だけで、参加しない方が大勢で家で何をされているのかが分からない現状です。どうしたら参加出来るようになるのでしょうか？又、町内会員にならない人を会員にするには？
- 私の地域は農業従事者が多く、高齢者でも土地を守って行く為、なかなか定年退職をした老人とすると隔たりを感じます。年令もかなり上がって来ていますので、どのようにしたら、うまい具合に体力を維持していけるか考えて頂ければと思います。
- 雇用の場が少なく若い人たちの絶対数が減少し・防力、各町内での中心的立場となるひとたちが減りつつづけている。どの町内も同じと思うが、とりわけ小さい町内では深刻な問題である。行事、活力、組織の合併化はさしあたっての対策と思う。

- 一人暮らしの高齢者、高齢者夫婦世帯を減らすため、子供との同居を積極的に進める。又、三世代、四世代世帯への公的支援（金銭的補助）を実施する。
 - ・姥捨て山が増えないよう、親子の絆の大切さ等、学校での子供への道德教育の充実を図る。
- 以前は町内会・子ども会と交流事業で多くの行事を行っていました。（ほうきづくり、しめ縄づくり、ミニ門松、花手箱、羽子板、餅つき寺子屋など）現状では、後継者もおられません。若い人の社会参加が大切。
- 市街地から遠隔地にある地域の交通手段を管内福祉施設と共同で実施する仕組みをつくる。（各施設の不使用時の車両の活用、タクシー業者との話し合いがうまくいかなかった行政の後押しを期待する。）
- 高齢者を支える、助ける若い人が少ない。いても物価が高いなど生活や子育てがやっとなで、高齢者を支える余裕がない。交流の場などあっても、生活のための仕事で参加も厳しくなる。
- コロナでの（地域間）隣地交流が軽減化しそれがあたりまえで声かけや活動そのものが（祭り事）中止されたままで交流が無い。そのため各々の健康状態も知る機会が無い状況である。
- 高齢者の方だけのご家庭が増加しております。色々と問題がある中ではございますが、ゴミ置場までの搬出が近い将来において何らかの対策が必要になると心配しております。（町内会長）
高齢者の不安や悩みを気軽に相談できるところがたくさんあるといいのではと思います。（民生委員）
- 町内会にて事業する時交通手段。高齢者便乗、マイカーでしているため、町内会でタクシーにて送迎している。経費のタクシー助成。
- 高齢者の移動に足が無く家にとじこもりがち人にめいわくをかけたくないと思う人が多くミニサロンにも参加者が少ない。
- 人吉市の高齢者施策や地域の高齢者課題についての周知や、諸問題の具体的な提案が周知されていない。
- 我が町内においては、元気の良い高齢者が多く今だ働くことが出来る方が多く、活動させている。
- 各町内会より提言された事をきちんととらえて出来る限り実施する方向で考えて欲しい。
- 専任の人材育成、相談してもわかる人が少なく、人事異動で入れかわりが早い
- 各世帯へ避難連絡用無線の設置・交通手段の充実、玄関までの送迎。
- 避難行動要支援者の避難移動時の手段の確保